

事業実施報告書

団体名：埼玉県認知症グループホーム・小規模多機能協議会

事業名：出前!!介護研修第3弾 研修過疎の解消と研修ニーズに就いて

1 事業の目的

一昨年度、昨年度と当該基金を受けて、「出張!!認知症介護基礎研修講座」「ステップアップ・グレードアップ介護研修」として実施したところ2カ年で延べ1,814名の参加があったが、埼玉県下は広域のため研修機会に格差が生じている現状が相変わらず解消されていない。介護職員の確保、離職防止は当県における喫緊の課題であり、処遇の改善とともに、職員の不安解消等研修機会の提供が不可欠である。特に今年度は研修過疎の解消のために、地域や事業所内で指導ができるリーダーの育成に重点を置いて事業展開を図ることとした。

2 事業内容

(1) 事業の概要

- これまでの関係団体や行政の実施する研修では対応困難な研修過疎地や開催時間を特段に考慮して対応することとした。(遠隔地、夜間の開催など)
- それぞれの地域や事業所において研修会や勉強会の企画設定や、指導ができるリーダーの育成に主眼を置くこととする。
- 地域における研修ニーズの吸い上げ。

(2) 事業の流れ

- 30年6月 当協議会の定時総会において発表・オーダーシートの配布
平成30年度豊かな地域福祉づくり推進事業
出前!!介護研修第3弾 研修過疎の解消と研修ニーズに就いて
- 30年8月 「出前研修 承ります」事業所宛通知しニーズの把握

出前!!介護研修第3弾 研修過疎の解消と研修ニーズに就いて 開催実績

	開催日時	参加地域 会場	研修内容	講師	参加 人員
第1回	9月25日(火) 14:30~16:30	全 県 浦和コミュセン	理由を探る認知症ケア	外部講師 裴鎬洙氏	60
第2回	11月20日(火) 13:30~15:30	坂戸市 GHシャローム	リーダーとして部下への指導法	埼玉県認知症 介護指導者	22
第3回	11月22日(木) 18:00~20:00	長瀬町ほか 長瀬町中央公民館	イライラ介護から いきいき介護へ	外部講師 南美詠子氏	42
第4回	11月29日(木) 14:00~16:00	全 県 北浦和カルタス	みんなが笑顔になる 非常識な介護	外部講師 佐藤龍司氏	34
第5回	12月11日(火) 18:00~20:00	ときがわ町 玉川公民館	介護職員のための アンガーマネジメント	外部講師 南美詠子氏	59
第6回	12月12日(水) 18:30~20:30	神川町ほか こむぎ弐番館	認知症ケアについて	埼玉県認知症 介護指導者	35

第7回	1月21日(月) 14:00~16:00	東松山市ほか 高坂コミュセン	認知症介護 リーダー研修	外部講師 裴鎬洙氏	5
第8回	1月22日(火) 19:00~20:30	富士見市 針ヶ谷コミュセン	リーダーとして部下への指導法	埼玉県認知症 介護指導者	32
第9回	1月25日(金) 18:00~20:00	川越市 看護小規模すずらん	認知症相談対応の能力向上	埼玉県認知症 介護指導者	21
第10回	2月18日(月) 15:30~17:30	長瀬町ほか 長瀬町中央公民館	認知症高齢者の障害を持った方 のケアについて	外部講師 菊本圭一氏	32
第11回	2月21日(木) 18:00~20:00	東松山市・加須市 高坂コミュセン	認知症ケアー知識と認知症ケア をどう考えるか	埼玉県認知症 介護指導者	20
第12回	2月22日(金) 18:00~20:00	小鹿野町ほか 小鹿野町文化センター	イライラ介護から いきいき介護へ	外部講師 南美詠子氏	80

全 12 会場 410 名

(3) 連携・協力機関

坂戸市グループホーム連絡会
 長瀬町健康福祉課
 ときがわ町福祉課・ときがわ町介護研修実行委員会
 富士見市地域密着型サービス連絡会
 小鹿野町保健福祉課・地域包括支援センター
 神川町複数事業所
 川越市複数事業所
 東松山市複数事業所
 加須市複数事業所
 日本アンガーマネジメント協会

3 成果及び今後の展開

○実施事業の成果

- (1) 今年度の実施希望では地域や事業所において、指導ができるリーダーの育成の要望が数か所あり、研修成果を持ち帰り事業所内で職員研修を行う個所が見られた。
- (2) 過去 2 カ年の実施個所においてはこの出前!!研修の有効性が十分に理解され、前年に増して研修参加者を多く募ることができた。
- (3) 研修過疎地の解消については、例えば小鹿野町において開催した研修は、身近でかつ夜間の開催ということで、80名の受講者があった。
- (4) 受講者のアンケート結果では、研修ニーズが「終末期ケア」「若年性認知症ケア」「人材育成」「リスクマネジメント」等多岐にわたる、という実態があった。

○今後の課題・展開

- (1) 研修開催希望の吸い上げにあたって、研修過疎と思われる地域によっても、研修に対する意識、意欲に格差がみられる。職員の離職防止や虐待防止のためにも研修の必要性を啓発していかなければならない。
- (2) 県下各地域における介護職員研修は今後も必須であると思われる。今後当協議会において開催することとなる講演会・研修会を県下各地での開催することを検討したい。
- (3) 今年度の出前研修は、地域・事業所において研修会を企画できる人材を増やすこと、指導できる人材を増やすこと 等々を主眼に事業展開を図ったが、一方で地域に出前することで、これまで介護研修を受講する機会の少なかった経験の浅い職員やパートタイマーの職員が多数受講する実態があった。勤務時間終了後、身近での開催であったため、同じ施設から多数の職員が参加でき、施設でのケアに改めて共通認識をもつことができた、という感想が散見された。介護施設職員の意識の底上げは今後も必要不可欠なものと思われる。
- (4) 終了後のアンケート結果から、今後も認知症ケアの研修は継続させていくことの必要性は当然のことであるが、介護職員の研修内容に関する要望は「終末期ケア、看取り」「若年性認知症」「薬について」「リスクマネジメント」と多岐にわたる。この実態にこたえるべく当協議会は研修を実施していくことが課題と考える。



11月20日 坂戸会場 坂戸グループホーム部会



1月22日 富士見市会場 富士見市地域密着型サービス連絡



2月22日 小鹿野町会場 小鹿野町複数事業所合同研修



11月22日 長瀬町会場 長瀬町健康福祉課